

## 令和6年度教育事業報告書

事業名	地域探究プログラム オリエンテーション合宿（日帰り）
期日	令和6年7月26日(金)
会場	国立那須甲子青少年自然の家
対象	光南高等学校 第1学年 文理探究コース
参加者数	31名
趣旨	国立青少年教育機構本部による全国高校生体験活動表彰制度「地域探究プログラム」運営に関するガイドラインに基づき、福島県立光南高等学校と連携し、探究の手法を用いながら、「個人の興味・関心と地域の魅力・課題を結びつける力（探究力）」を実践的に身に付ける。

### 事業内容及び成果と課題

#### 【事業内容】

全国高校生体験活動顕彰制度のカリキュラムBに基づき、試行分野である「地域づくりの理解と課題設定の基礎」「地域づくりと探究」「発表①」を行った。

「地域づくりの理解と課題設定の基礎」では、白河市役所の青戸悠之介氏による講話・ワークショップを実施した。青戸氏からは、白河市の歴史や文化、地域が抱える課題、それに対する取り組みについて説明があった。地域の人が抱える課題を捉えるためのワークとして、架空の人物設定を基に、その人物が抱える課題を推察するワークを行った。「地域づくりと探究」では、一般社団法人未来の準備室理事長の青砥和希氏を講師に迎え、講義・演習を実施した。参加生徒は、身の回りの課題をより自分事として主体的に捉えるための演習を行う中で、探究学習における探究テーマの設定方法について学んだ。

#### 【成果と課題】

##### 〈成果〉

今年度は市役所職員の方に講師を依頼したが、地域の現状について具体的な話を伺えたことで、参加生徒は地域の魅力や課題を意識するとともに、地域で生活する人に目を向けて、その後の活動に取り組んでいた。

地域の課題や個人の興味・関心についてブレインストーミングを行い、それらを組み合わせてテーマを設定する活動を行うことで、興味・関心と地域の課題を結びつけてテーマを設定する手法を参加生徒が学ぶことができた。

##### 〈課題〉

参加生徒は、地域の課題についての意識が高かったため、魅力についてもさらに目を向けられるようにしたい。テーマを設定する中でどのような魅力のある地域にしたいかを考えさせる視点を入れてもよいと感じた。

### 事業の様子



講義の様子



ワークショップの様子



講義の様子



テーマづくりの様子



テーマの発表



集合写真